

# 1. 男女共同参画

課題	「男は仕事、女は家庭」といった性別を理由に役割や責務を固定的にとらえる意識は、社会に根強く残っており、また、保育所の待機児童の問題や、女性だけでなく男性も産休・育休が取りづらい環境などがあり、こういったことが家庭や職場、地域などにおいて男女共同参画の推進を妨げる一因となっています。		
施策の 方向性	横須賀市は、今後も、家庭や職場、地域など、あらゆる場で性別役割にしばられることなく人権が等しく尊重され、自らの選択によってあらゆる分野における活動で協力しあい、互いに個性と能力を発揮し、その利益を享受できる男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めていきます。		
	主な取り組み		主な事業
	(1) 政策・方針決定過程への女性の参画促進	審議会等への積極的な女性の参画促進、実態調査 等	
	(2) 女性の活躍推進	起業を目指す人への支援 就業・再就職・キャリアアップを目指す人への支援 等	
	(3) ワーク・ライフ・バランスの推進	広報誌等により取り組み事例の紹介 育児・介護休業等の取得促進、テレワークの円滑な運用 等	
	(4) 暮らしやすい社会の意識づくり	広報誌(New Wave)の発行(年2回)、配布による啓発 等	
	(5) 誰も孤立させない社会に向けた支援	デュオよこすか、よこすかLGBTs相談による支援 等	
	(6) 家庭・地域・学校における男女共同参画の推進	子育て支援センター愛らんど等における子育てに関する相談支援、ひとり親の資格取得促進のための給付金支給 等	
	(7) DV等を根絶する環境づくり	ポスターや冊子への掲載による相談窓口の周知 デュオよこすかや女性のためのDV相談による相談支援 等	

## 2. 子ども

### 課題

いじめは不登校の原因ともなります。いじめは、いじめられた子どもの「教育を受ける権利」を奪うことにほかなりません。いじめや虐待は、最悪の場合、被害を受けた子どもに自らが望まない死をもたらす引き金となることさえあります。このように、いじめや虐待は、子どもの「教育を受ける権利」や「生きる権利」さえも奪いかねない重大な人権侵害です。また、青少年の非行問題、子どもを対象にした商業的搾取や犯罪も、解決しなければならない子どもの人権問題です。

### 施策の方向性

子どもたちの健やかな成長は、すべての市民の願いです。横須賀市は、子どもたちが未来に向かって自分らしく大きな夢を抱くことができるよう、さまざまな取り組みを進めていきます。

#### 主な取り組み

#### 主な事業

(1) 地域における子育て支援と相談の体制の充実

子育て支援ヘルパーの派遣  
学校運営協議会による地域と連携した学校運営 等

(2) 家庭や地域における教育力の向上

人権教育啓発講座、講演会の開催  
子どもの国際コミュニケーション能力の育成 等

(3) いじめの未然防止と早期解決のための取り組みの推進

人権教育、道徳教育、体験活動等の充実  
スクールカウンセラーの派遣、  
ピンクシャツデー運動による啓発 等

(4) 不登校やひきこもりの児童生徒への支援の推進

支援機関の紹介、  
「不登校相談会・進路情報説明会」の開催 等

施策の 方向性	主な取り組み		主な事業
	(5)	虐待の発生予防・早期発見・早期対応への取り組みの推進	横須賀市子育てホットライン(24時間・365日)による相談支援、ポスター等による啓発 等
	(6)	社会的養育を必要とする子どもの支援の推進	里親に対する研修や子どもと里親家庭のマッチング 等
	(7)	健やかに育つ社会環境づくりの推進	青少年育成推進員と連携した非行防止キャンペーンやイベントの開催、協議会広報「よこすか育成通信」による啓発活動 等
	(8)	児童搾取防止の啓発活動の推進	子どもの権利リーフレットの配布を通じて子どもや保護者に向けた啓発、リーフレットを活用した教育活動 子どもの権利を守る条例(令和4年7月制定)の趣旨説明 等
	(9)	教職員への人権意識の啓発の推進	研修等の開催・教職員の派遣による意識向上 等
	(10)	子どもたちへの人権意識の啓発の推進	人権教室の開催(年7か所)による啓発 等

### 3. 高齢者

#### 課題

高齢化の進行は、医療や年金、介護等の社会保障をはじめ、社会全体に大きな影響を与えています。介護が必要な高齢者やその他何らかの援護を必要とする高齢者が増えるに従い、さまざまな福祉サービスがあるにもかかわらず、詐欺的な商法の被害や身体的・経済的虐待に遭ったりするような事例も生じています。このような事例は、高齢者の人権という観点から、人間の尊厳や生存権などにかかわる見過ごすことのできない問題です。

#### 施策の方向性

横須賀市は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

#### 主な取り組み

#### 主な事業

(1) 生涯現役で生き生きと活動的に暮らせる環境づくりの推進

「生涯現役フォーラム」の開催  
健康づくり・食育に関する教室の開催 等

(2) 虐待防止のための高齢者、擁護者及び介護施設従事者等への支援の取り組み

相談支援、虐待通報の受付、訪問支援  
高齢者虐待防止マニュアルの配布 等

(3) 介護予防についての意識を高め、高齢者の生活機能の維持向上の促進

介護予防関連教室の開催  
フレイル予防、サポーター養成講座の開催 等

(4) 住み慣れた地域での生活の支援

地域で支え合う活動への支援  
生活支援体制整備事業の推進 等

主な取り組み		主な事業
施策の 方向性	(5) 高齢者の権利擁護の推進	成年後見制度の周知、市民後見人の活動支援 終活情報登録伝達事業やエンディングプラン・サ ポート事業による意思決定支援 等
	(6) 介護保険制度の広報・啓発や研修などの充実	パンフレット「あんしん介護保険」の発行 等
	(7) 利用しやすい施設・設備づくりの推進	公共施設におけるバリアフリーの推進
	(8) 福祉教育の充実	総合学習の中での福祉をテーマとした学習の実施 車いす等を利用した実践的な学習の実施 等
	(9) 介護人材を確保し、定着を促進	介護サービス事業所を対象とした研修の実施 介護職員出前講座教育の開催 等
	(10) 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの 推進	認知症サポーター・オレンジパートナーの養成 行方不明者の搜索協力や見守りの協力依頼 等

## 4. 障害者

### 課題

横須賀障害者福祉計画を実現するためには、障害者が自己選択・自己決定でき、そのために必要なさまざまな支援が身近な所で受けられる生活が保障されなければなりません。  
しかし、地域社会には、これを困難にしている都市環境などの物理的障壁(バリア)ばかりでなく、差別につながるような制度・意識上の障壁などさまざまな社会的障壁が存在しており、これらを取り除いていく必要があります。

### 施策の方向性

横須賀市は、「障害者が自分らしい自立した生活を送りながら、自らの能力を発揮することで、自己実現をより可能とする社会」、「障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めていきます。

#### 主な取り組み

#### 主な担当課

(1) 障害者の地域生活の支援

障害福祉サービス(自立支援給付・地域生活支援事業)による支援 等

(2) 保健・医療サービスの充実

精神保健福祉相談員や精神科嘱託医による相談支援  
重度障害者医療扶助 等

(3) 相談支援・情報提供の充実

障害者相談サポートセンターによる相談支援  
相談員の専門研修の実施 等

(4) 障害児施策の充実

療育相談センターによる相談支援  
特別支援教育に関する教職員研修の実施 等

施策の 方向性	主な取り組み		主な担当課
	(5)	働く場・活動の場の充実	障害者就労支援事業運営費の補助 職場定着サポーターの派遣 等
	(6)	バリアフリーのまちづくりの推進	公共施設におけるバリアフリーの推進 手話通訳者等の派遣による情報保障 等
	(7)	権利擁護システムの構築推進	市民向け研修やイベントの実施による理解促進 成年後見人制度の利用支援 等
	(8)	障害者福祉の推進基盤の整備	「横須賀市障害とくらしの支援協議会」による協力体制 の構築 等



## 5. 同和問題

課題	全国的に見ると、インターネット上での差別書き込みや、結婚・就職差別に結び付く恐れのある戸籍の不正請求、えせ同和行為など、同和問題解決の障害となる行為が見受けられます。		
施策の方向性	横須賀市は、同和問題の解決に向けて、さまざまな取り組みを進めていきます。		
	主な取り組み		主な事業
	(1)	教育・啓発活動の推進	人権教育啓発講座、講演会の開催・職員の派遣 等
	(2)	人権教育の推進	講演会等への職員の派遣 等
	(3)	えせ同和行為の排除	パンフレットを活用した啓発、職員研修 等
	(4)	相談体制の充実	同和団体の活動支援(連絡調整・相談対応) 等
	(5)	権利擁護の推進	事後通知型による本人通知制度の実施 住民票発行履歴の簡易開示の実施
	(6)	当事者団体との連携及び地域住民の交流の促進	同和団体の活動支援(連絡調整・相談対応) 等



## 6. 外国人

### 課題

横須賀市の施策全般に多文化共生の視点での配慮が求められています。災害時の対応や、法律・医療・福祉などの専門分野、学校教育や日常生活など、幅広い支援とその周知が必要となっています。また、一方、近年では、特定の国籍や民族の人々を差別、排斥したり、それを煽ったりするような言動である「ヘイトスピーチ」が県内においても繰り返されるなど、社会的問題となっています。

### 施策の 方向性

横須賀市は、「人権都市宣言」の理念である、「国籍を問わず、市民一人ひとりをかけがえのない個人として尊重」するまちづくりを進めるため、異なる文化や習俗、言語などに対する理解不足から生ずる偏見や差別をなくし、それぞれの違いを認め合い、尊重し合うことのできる多文化共生社会の実現に向けて、NPO 団体などと協力しながら、さまざまな取り組みを進めていきます。

#### 主な取り組み

#### 主な事業

(1) 外国人の生活の支援

外国人生活相談による支援、日本語会話サロンの開催 等

(2) 相互理解を深める交流事業の実施

国際交流イベント補助金交付による民間団体の自主的な企画の促進、姉妹都市との交換学生事業 等

(3) 多言語による情報発信

横須賀市ホームページの自動翻訳システムの導入  
横須賀市公式LINEのやさしい日本語・英語での配信 等

(4) 災害時における外国人の支援

外国人のための防災講座の動画配信  
外国人向け防災放送、外国人を交えた防災訓練の実施 等

(5) 外国人の子どもたちの就学支援

日本語支援ステーションによる就学時ガイダンスや  
日本語の初期集中指導、相談支援 等(令和5年度から)

(6) 外国人の医療の確保や健康増進に関する情報提供

多言語音声アプリ「救急ボイストラ」の導入と広報誌等での周知  
救急医療機関外国籍市民対策補助金交付による受入れの促進 等

## 7. 患者等

### 課題

医師と患者の関係は、支配・服従関係でも、一方通行的な関係でもなく、平等な人間関係に基づく信頼関係であることが基本です。治療内容については、医師の専門家としての判断と裁量権が重要ではありますが、患者の生命・身体に関する最終的決定権は患者自身にあるという考えが、医療現場における根本原則と言えます。また、エイズやハンセン病などの感染症について、誤った知識や偏見、理解不足から患者やその家族に対して生じる差別などの人権問題が生じています。

### 施策の方向性

横須賀市は、医療に関するさまざまな変化を見据えながら、患者の自己決定権やプライバシーなどの人権を擁護し、病気や医療に関する正しい知識の普及や良質な医療の提供に努めるとともに、市民の健康増進を図るためのさまざまな取り組みを進めていきます。

#### 主な取り組み

#### 主な事業

(1) 医療体制の維持・改善

看護師離職防止研修による看護師の確保対策の実施  
市立総合医療センターの整備(令和7年3月開院予定)等

(2) 地域における医療連携の促進

地域医療支援病院の紹介及び業務報告等の情報共有 等

(3) 患者の自己選択に基づく医療の確保

診療の手引きを用いた情報発信 等

(4) 病気に関する正しい知識の普及を推進

ホームページを活用した正しい知識の普及啓発  
在宅難病患者に対する保健師による訪問相談 等

(5) 相談体制の充実

医療安全相談窓口による相談支援 等

(6) 市民の健康の増進

健康診査および各種がん検診の実施  
健康づくり教室や食育教室の実施 等

(7) 個人情報の適切な管理

市立病院や保健所等の運営における個人情報の適切な管理

## 8. インターネットによる人権侵害

課題	<p>インターネットの情報は、発信者の意図に関わらず、あらゆるところに急速に拡散してしまう恐れがあることから、インターネットを使用する一人ひとりの人権意識が大切です。</p> <p>インターネットの利用者に対し、個人の名誉やプライバシーに関する正しい理解を深めるための啓発活動を推進していく必要があります。</p>		
施策の 方向性	<p>インターネットによる人権侵害が起こらないよう、インターネットを適正に利用するためのモラルやリスクの理解を深めるための啓発活動を推進していきます。</p>		
	主な取り組み		主な事業
	(1) 教育・啓発活動の推進		人権教育啓発講座、講演会の開催 教育アンケートの実施による実態把握 等
	(2) 相談・支援の充実		市ホームページや広報誌による相談窓口の周知

## 9. 性的マイノリティ

### 課題

性的マイノリティの当事者は、少数派であるため周囲の人の無理解や偏見から、さまざまな困難を抱えることがあります。特にゲイ、バイセクシュアル男性の自殺未遂率は、非常に高い水準にあるという統計があります。さらに、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルの方々が婚姻を前提とした社会環境での生きづらさを感じたり、トランスジェンダーの方々が男女二分論を前提とした社会環境での生きづらさを感じたり、それぞれ異なる困難や悩みを抱えています。

また、思春期における性的マイノリティの子どもたちが、学校において、心無い言葉による暴力などのいじめを受け、孤立し精神的な抑圧を受け、不登校や自殺に追い込まれるケースが少なくないことも専門の研究機関などのアンケート調査結果から推し量ることができます。

このような状況から、さまざまな「違い」を「個性」と考え、互いに認めあい、性的マイノリティの当事者とその家族にとって孤立を防ぐ取り組みが必要です。

人が100人集まれば、100通りの個性があるように、一人ひとりの性の在り方も異なります。横須賀市は、相談窓口の設置、啓発活動、情報交換の場の設置など多様性のあるまちづくりを進めていきます。

### 施策の方向性

主な取り組み		主な事業
(1) 性的マイノリティ当事者の人権を守る取り組み		申請書等における性別欄の見直し パートナーシップ宣誓証明制度、導入自治体との連携 等
(2) 相談体制の整備		よこすかLGBTs相談による相談支援 多様な性に関する研修会(年9回)による知識の習得 等
(3) 正しい知識の周知		啓発リーフレットの配布による理解増進 学校や公共施設、商業施設でのパネル展示啓発活動 等
(4) 関係機関等との連携		市と当事者との意見交換会 NPO団体の啓発イベントの周知 等

## 10. 自殺をめぐる問題

課題	自殺は、「個人の問題」として認識されがちでしたが、広く「社会の問題」としても認識されるようになりました。自殺の多くが追い込まれた末の死です。横須賀市においては、さまざまな取り組みを行っていますが、いまだに多くの市民が自殺によって尊い命を失っています。また、自死遺族に対するケアも重要となっています。		
施策の方向性	「誰も一人にさせない、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指すとともに、庁外の関係機関とも連携して自殺対策に取り組めます。		
	主な取り組み		主な事業
	(1) 自殺の実態分析	横須賀市の自殺分析(特別集計)の市ホームページでの公表 等	
	(2) 地域連携	自殺対策連絡会の開催による自殺対策計画の進行管理 等	
	(3) 相談体制の充実	横須賀こころの電話(年中無休・時間帯有)による相談支援包括相談会(年2回)の開催	
	(4) 人材育成	ゲートキーパー養成等研修会(年6回、登録者・行政職員向け)の開催	

施策の 方向性	主な取り組み		主な事業
	(5)	普及・啓発活動	自殺対策街頭キャンペーンによる相談窓口紹介冊子「よこすか心のホットライン」の配布、ポスターの作製・掲示
	(6)	ハイリスク者・若年者・高齢者・生活困窮者への対策	性的マイノリティの分かち合いの会(年12回開催)の開催支援 相談窓口紹介冊子「よこすか心のホットライン」の作製・配布
	(7)	自死遺族支援事業	自死遺族分かち合いの会(年6回)の開催
	(8)	周産期のメンタルヘルス支援	「プレママ・プレパパ教室」等の開催、 産後うつ対策カウンセリング 等
	(9)	自殺未遂者対策	自殺未遂者対策検討会(年2回、共済病院・うわまち病院)の開催等



## 11. その他の人権課題

### 課題

近年、価値観の多様化や情報化の進展、経済的格差の拡大など、社会情勢の変化に伴って、新たな人権問題が生じています。さらに、人権意識の高まりや当事者の取り組みなどに伴い、改めて顕在化した人権問題があります。ホームレスや生活困窮者、婚外子(非嫡出子)への偏見や差別、犯罪被害者とその家族への肉体的・精神的・経済的侵害、刑を終えて出所した人や犯罪者の家族に対する差別や権利侵害など、多くの問題が存在しています。さらに、北朝鮮による拉致被害者とその家族なども解決すべき問題として認識されています。これらの問題は、人権尊重の意識が日常生活に根付いていないことを示すものであり、誤った知識や偏見による嫌がらせ・差別の根本的解決の難しさを示しています。これらの人々に対する人権侵害を防ぎ、支援・救済を行うためには、法制度の整備や社会全体の理解を醸成する必要があります。このため、横須賀市は、これらの問題に対する認識をさらに深め、法改正や社会情勢の変化などに応じた的確な施策を検討し展開していきます。また、国や県などの関係機関と連携し、啓発活動や相談窓口での誠実な対応など、地方自治体としての役割を果たせるよう努めていきます。

### 施策の方向性

#### 主な取り組み

#### 主な事業

(1) 犯罪被害者およびその家族の人権

相談窓口、見舞金等の支給、転居支援 等  
(令和4年度条例制定)

(2) 刑を終えて出所した者等やその家族の人権

社会を明るくする運動(街頭啓発キャンペーン、講演会等の啓発行事) 等

(3) 路上生活者(ホームレス)・生活困窮者の人権

食糧や居場所など日常生活に関する相談と支援の実施 等

(4) 就労支援を必要とする人の人権

就業・再就職・キャリアアップを目指す人への支援 等



施策の 方向性	主な取り組み		主な事業
	(5)	職場における人権侵害	厚労省作成のポスターの掲出 等
	(6)	婚外子の人権	差別のないまちづくりの推進
	(7)	災害に伴う人権問題	女性、障害者、外国人の方々に配慮した運営となるよう避難所運営委員会等に対して啓発 コロナ差別に関する広報周知 等
	(8)	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題	横田めぐみさんと特定失踪者のパネル展示、 映画上映会共催 等
	(9)	アイヌ民族の人権	関連ポスターの掲出